

平成 元年度

一般会計当初予算 市制施行以来初めて

■平成元年度南国市一般会計当初予算＝平成元年度一般会計当初予算は総額 143億 9,178万円で、63年度当初予算に比べて 6.5%の減。これは小集落地区改良事業費が前年より18億円余り減ったため、当初予算が前年度を下回ったのは、市制施行後30年間で初めて。歳入のうち、市税、地方譲与税などの一般財源の総額は72億 9,762万円と前年度比9.8%の増加で、特定財源である国・県支出金、市債は21.3%の減となり、財源内容はやや好転。

歳出は、消費的経費が前年度比 5.9%増の60.2%を占めています。

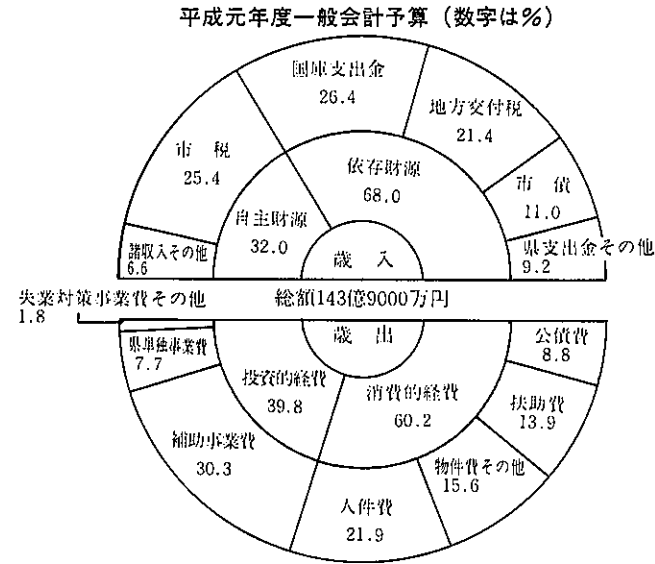
市制30周年記念事業

平成元年度は市制施行30周年にあたり、市民総参加の30周年記念事業費として3,100万円を計上。記念事業には、記念式典のほか、大韓民国を訪ねる「市民の翼」や「土佐のまほろばまつり」、「土佐日記船出のまつり」、記念映画、写真集の作成を計画。

教育施設の整備

重点目標であり、長岡小学校改築に3億 8,588万円、稲生小学校屋内運動場増改築に1億 6,627万円、後免野田小学校屋内運動場増改築に1億 5,843万円、十市小学校用地取得費3億 6,400万円を計上し、教育施設の充実に努めます。

地域改善対策事業



新規立法3年目の今年是小集落地区改良事業費を野中地区24億 9,375万円、東崎西部地区5億 6,186万円などの総額30億 8,154万円計上し環境整備を図ります。

福祉関係

老朽化した十市保育所の移転改築に1億 2,131万円、また身体障害者福祉対策に1億 4,323万円、精神薄弱者福祉対策に8,985万円、老人福祉対策に4億 4,313万円を計上し福祉の充実に努めます。

環境衛生

不燃物処理の千屋崎における埋め立てが限界に近づいたため、廃棄物最終処分場調査費として3,334万円、し尿処理については黒滝し尿処理場に代わる新たな立地を求め、新規し尿処理施設調査関連費1,730万円を計上しました。

農業

継続事業の土地改良総合整備事業5,151万円、団体営農道整備事業に1,565万円、県単独土地改良事業1億 1,660万円などを計上し、農業基盤の整備を図ります。

土木

継続事業を重点に市道小笠辺路石線、天神倉の坂線改良事業などの国庫補助事業4件1億 6,100万円、県営事業負担金5,000万円、市単独事業8,576万円などが道路改良費で、橋梁改良費は国分川改修に伴う国庫補助事業小蓮橋改良事業2,000万円、河川関係は準用河川小笠川、小久保川の継続改修事業7,200万円などが主な事業です。

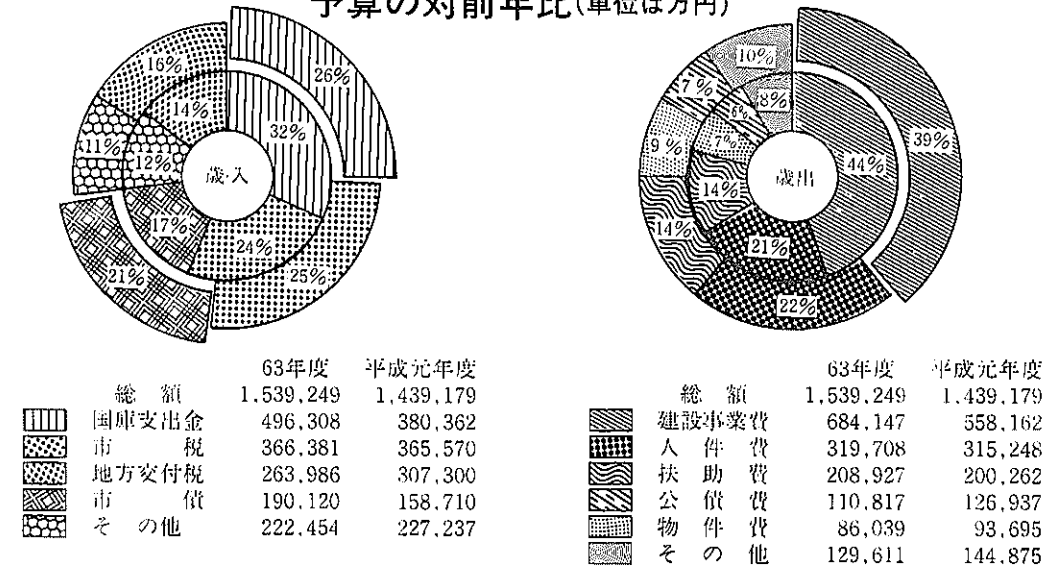
住居表示

昭和63年度に引き続き、本年度は朝日町及び後免地区の

総額143億9,000万円

前年度を下回る

予算の対前年比(単位は万円)



一部を計画し1,053万円を計上。

防災対策

消防ポンプ自動車、無線遠隔サイレン放送制御装置、里改田消防屯所新築など消防施設費4,221万円を計上しました。

土地開発公社への支払い

比江工業団地用地取得費等2億円を計上。公社負債の解消に努めます。

ふるさと創生

本年度交付される8,000万円は基金に積み立て、前年度分と合わせて「南国市ふるさとづくり基金」は1億円に。平成元年度南国市下水道事業特別会計予算＝総額10億8,885万円を計上。内容は浦戸湾東部流域関連公共下水道施設費5億8,865万円、新市街地開発事業関連南国市公共下

水道施設費十市処理区4億2,050万円などです。

平成元年度南国市老人保健特別会計予算＝総額37億9,944万円

で前年度比3.7%の増。医療費が37億5,751万円、受診件数と一人当たり医療費の伸びより7.6%の増を見込み計上。財源は特定財源35億6,982万円、一般会計からの繰入金1億9,168万円、貸付金元利収入等3,794万円です。

平成元年度南国市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算＝総額3億8,335万円

で、前年度比2.1%の減。これは小集落地区改良事業に伴う宅地の取得及び新築住宅建築件数の減によるものです。貸し付け予定額は2億290万円。

平成元年度南国市国民健康保険特別会計予算＝総額33億1,427万円

で前年度比1.02%

の増。国民健康保険制度の運営の安定化を図るため一般会計より1億140万円の繰入金を計上。活動費として1,215万円を計上しました。

平成元年度南国市水道事業会計予算＝営業に伴う収益的収支は総額4億1,113万円

で前年度比6.4%の増。建設事業に伴う資本的収支は収入1億9,258万円、支出3億4,778万円を計上。前年度に比べ収入6億1,652万円、支出5億3,173万円の減で、収入が支出に対して不足する1億5,520万円は、減債積立金、過年度分損益勘定留保資金で補填の予定。主な事業は、上水道事業で下水道事業に伴う配水管業の敷設替工事。簡易水道事業では野中簡易水道の第2整備事業。